

三原市立北方小学校は、沼田川水系梨和川の流域に面し、文化遺産に恵まれた町にある歴史と伝統ある学校です。校区には、空陸交通の拠点となる広島空港、山陽自動車道本郷インターがあります。また、学校近くの「公認 北方グラウンドゴルフ場」は市内はもちろんのこと、近隣からも多くの方が利用されています。

明治6年の開校以来、143年目を迎えたこの北方小学校ですが、いよいよ今年度いっぱいでの長い歴史の幕を閉じることになりました。これまで地域の皆様に愛され、大切にされてきた学校と子供達。連綿と受け継がれてきた誇りと伝統。それらに思いを馳せ、教職員10名と児童27名によって、有終の美を飾ることができますよう、一丸となって歩みを進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の学校教育目標は「夢と志をもち、たくましく生きる子どもの育成」と設定し、「確かな学力を身につける学校」「ふるさとを愛し、感謝の心を育てる学校」「保護者や地域の信頼に応える学校」をめざします。子どもたちが自分の考えを確かに持つ自力解決場面を保障しつつ、それを自ら表現し、集団で学び合い、深めていこうとする集団解決場面を確立するとともに、刻々と動く子どもの表情や目の輝きを見取り、「学び合い」を組織し、授業を展開していく、算数科における問題解決的な学習の確立を通して、授業改善を図ろうと試行錯誤しているところでございます。

また、広島版「学びの変革」アクションプランの趣旨を踏まえ、課題解決型の学習の筋道を大切に、本時の学習内容から課題を設定し、児童が自ら結論の予想を立てたり、解決の糸口を探ったりするとともに、実験観察あるいは立式、資料分析、既習事項、文章読解等を通して、小集団もしくは全体で検証・立証していく方向で授業及び教育研究を進めてまいりたいと考えています。

子どもの「わかるようになりたい。」という願いに応え、「夢に向かって、ともにかかわり合いながら伸びる」ことができるよう、保護者、地域の皆様、更なるご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

